

インストールガイド

AXIS Q60 シリーズ

AXIS Q6032-E PTZ ドームネットワークカメラ

AXIS Q6034-E PTZ ドームネットワークカメラ

AXIS Q6035-E PTZ ドームネットワークカメラ

法律上の注意事項

ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があります。その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。本製品には H.264 エンコーダー用のライセンスが1つ含まれています。追加ライセンスのご購入については、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。

商標

Apple、Boa、Bonjour、Ethernet、Internet Explorer、Linux、Microsoft、Mozilla、Netscape Navigator、OS/2、Real、SMPT、QuickTime、UNIX、Windows、WWW は各社の登録商標です。Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における Sun Microsystems Inc. の商標または登録商標です。Axis Communications AB は Sun Microsystems Inc. とは無関係です。UPnP™ は、UPnP™ Implementers Corporation (IIC) の商標です。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は無線周波数を発生および使用し、また放射する可能性があります。そのため、指示通りに設置および使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害をもたらす恐れがあります。ただし、特定の設置で妨害が生じないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビ受信機に対して有害な妨害を招き、本装置の電源の入/切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の1つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。受信アンテナの方向または位置を変更する。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なるコンセントに接続する。販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。EMC 基準に準拠するには、本装置と一緒にシールド付き (STP) ネットワークケーブルを使用する必要があります。

米国 本装置は FCC 基準のパート 15B に基づき、クラス B コンピューターデバイスの規定範囲に準拠しているかどうかの審査を受け、認証済みです。FCC 基準のパート 15B は、装置を商業環境内で動作させた場合、干渉などから適度な保護を提供するように設計されています。居住地区での本装置の動作は干渉を引き起こす可能性が高くなります。その場合、ユーザーは干渉をなくす措置を自費で行わなければならない。

カナダ このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

ヨーロッパ このデジタル機器は、EN 55022 の限度 B に準じた無線周波放射条件を満たしています。本製品は、EN 61000-6-2 産業環境および EN 55024 に準じた耐性に関する条件を満たしています。

日本 この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく設置し、使用してください。

オーストラリア この電子機器は、無線通信 (電磁適合性) 基準 AS/NZS CISPR22 の要求を満たしています。

韓国 - AXIS Q6032-E/Q6034-E: 이 기기는 가정용 (B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

韓国 - AXIS Q6035-E: 이 기기는 업무용 (A급)

전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

安全のために

(情報処理装置等の安全規格) に適合しています。

装置の改造

本装置は、必ず本書とユーザーズマニュアルの手順にしたがって設置および使用してください。本装置には、ユーザーが交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任

本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱字、乱丁または落丁を見つけた場合は、最寄りの Axis 事業所までご連絡ください。また Axis Communications AB は、技術的な間違いや誤字・脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。Axis Communications AB は、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。Axis Communications AB は、この資料の提供、パフォーマンス、使用に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。本製品は、意図された目的のみに使用してください。

RoHS

本製品は、欧州 RoHS 指令 (2002/95/EC) および中国 RoHS 指令 (ACPEIP) に準拠しています。



WEEE 指令

欧州連合では、電気および電子装置廃棄物についての指令 2002/96/EC (WEEE 指令) を導入しました。この指令は、欧州連合加盟国に適用されます。本製品またはその資料の WEEE マーク (右側を参照) は、家庭のゴミと一緒にこの製品を捨ててはならないことを示しています。人間の健康および/または環境への害を防止するために、本製品は承認を受けた環境的に安全なリサイクルプロセスで処分する必要があります。本製品を正しく処分する方法について詳しくは、製品のサプライヤーまたはご使用地域でのゴミ処理を担当する地域当局にご連絡ください。業務ユーザーの方は、本製品の正しい処分方法について、製品のサプライヤーまでご連絡ください。本製品は、他の産業廃棄物と混合しないでください。



サポート

技術サポートが必要な場合は、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。Axis 販売店がお客様のご質問にすぐに回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急に回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことが行えます。

- ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロードする。
- FAQ データベースで問題の解決方法を見つける。製品別、カテゴリー別、または語句を使用して検索する。
- 専用サポートエリアにログインして、Axis サポートに問題を報告する。

安全確保

製品をインストールする前に、本インストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは今後参照するために保管しておいてください。

⚠ 警告！

- Axis 製品を輸送する場合には、製品が損傷するのを防ぐために元の梱包または類似した梱包を使用してください。
- Axis 製品を保管する際には、乾燥した換気のよい環境で行ってください。
- 製品が損傷する可能性があるため、振動、衝撃または強い圧力が製品にかからないようにし、カメラを不安定なブラケット、不安定な場所、振動する場所や壁に取り付けしないでください。
- Axis 製品を取り付ける際は、手動工具のみを使用してください。電動工具を使用したり、過剰な力をかけると製品が損傷することがあります。
- 化学薬品、腐食剤、噴霧式クリーナーは使用しないでください。クリーニングを行う場合には湿った布を使用してください。
- 製品の技術仕様に準拠したアクセサリのみを使用してください。このようなアクセサリは Axis またはサードパーティから購入できます。
- Axis が提供または推奨する交換部品のみを使用してください。
- 製品を自分で修理しないでください。修理に関しては Axis または Axis 販売店にお問い合わせください。

⚠ 重要！

- 本 Axis 製品は、お使いになる国・地域の法律および規制にしたがって使用してください。

バッテリーの交換

本 Axis 製品は、内部のリアルタイムクロック (RTC) 用電源として 3.0V CR2032 リチウムバッテリーを使用しています。通常、このバッテリーは最低 5 年間使用できます。バッテリーが低電力の状態となると、RTC の動作に影響し、電源オンのたびにリセットされます。バッテリーの交換が必要になった場合、ログメッセージが表示されます。バッテリーは、このように必要な場合以外には交換しないでください。

バッテリーの交換が必要になったときは、www.axis.com/techsup を参照してください。

- バッテリーは、正しく交換しないと爆発する危険があります。
- メーカーが推奨する同じバッテリーまたは同等のバッテリーのみと交換してください。
- 使用済みバッテリーを廃棄する際は、メーカーの指示にしたがって処分してください。

ドームカバーの掃除

- ドームカバーに傷が付いたり破損しないように、注意して取り扱ってください。肉眼で見て汚れがない場合は掃除しないでください。また、絶対に表面を磨かないでください。過度な清掃により、表面が破損することがあります。
- 一般的なドームカバーの掃除には、研磨剤が含まれない無溶媒の中性石鹸または洗剤と水、柔らかい布を使用することをお勧めします。きれいなぬるま湯でよくすすいでください。ウォータースポットを防ぐため、柔らかい布でふき乾かしてください。
- 強力な洗剤、ガソリン、ベンジン、アセトンなどは絶対に使用しないでください。また、直射日光が当たる場所や気温が上昇する場所での清掃は避けてください。

AXIS Q6032-E/Q6034-E/Q6035-E インストールガイド

このインストールガイドでは、AXIS Q6032-E/Q6034-E/Q6035-E PTZ ドームネットワークカメラ（以下、ネットワークカメラ）をお使いのネットワークにインストールする手順について説明しています。本製品の使用についてのその他の詳細は、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

インストール手順

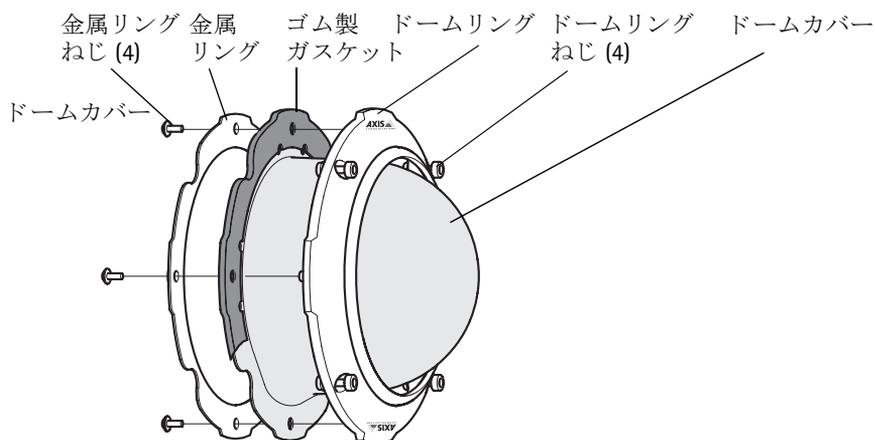
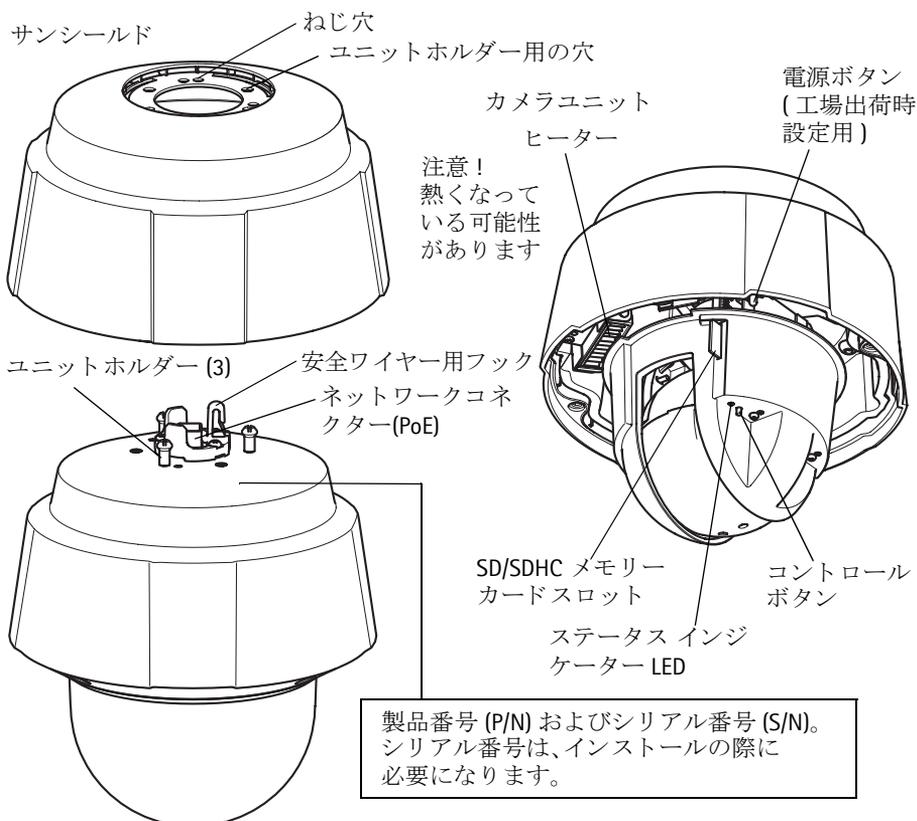
1. 下のリストで、パッケージの内容を確認してください。
2. ハードウェアの概要。6 ページを参照してください。
3. ハードウェアの設置。7 ページを参照してください。
4. IP アドレスの設定。11 ページを参照してください。
5. パスワードの設定。14 ページを参照してください。



① パッケージの内容

品目	モデル / 型 / 注
ネットワークカメラ	AXIS Q6032-E/Q6034-E/Q6035-E
ドームカバー	クリア (透明) カバー (取付済み)
High PoE ミッドスパン	AXIS T8124 電源ケーブル付属 (国別)
RJ45 コネクター	IP66 規格のネットワークコネクター
サンシールド	プラスチック製の保護カバー、ネジ付属
CD	AXIS ネットワークビデオ製品 CD (製品マニュアル、インストールツール、その他のソフトウェアを含む)
印刷物	AXIS Q6032-E/Q6034-E/Q6035-E インストールガイド (本書) Axis 保証書 予備のシリアル番号ラベル (2 枚) AVHS 認証キー
オプションアクセサリ	AXIS T91A 取付用アクセサリ 利用できるアクセサリについては、 www.axiscom.co.jp を参照してください。

② ハードウェアの概要



③ ハードウェアの設置

インストールの準備

ネットワークカメラのインストールの準備手順では、ドームリングとドームカバーを取り外すことが必要なステップが複数あるため、これらのステップを同時に行えるようすべての手順をよく読んでから取付準備を行ってください。

- ネットワークカメラには、オプションのサンシールドがあります。必要な場合は、以下のサンシールドを取り付ける(オプション)の手順にしたがって、サンシールドを取り付けます。
- ネットワークカメラには、クリア透明カバーが付属しています。必要な場合は、以下のクリア/半透明ドームカバーを交換する(オプション)の手順にしたがって、ドームカバーを交換します。
- ネットワークカメラ内に画像を保存するには、標準または大容量のSDカード(別売)が必要になります。以下の手順SDカードを取り付ける(オプション)にしたがって、ドームカバーを取り外し、SDカードを取り付けます。

サンシールドを取り付ける(オプション)

1. ドームカメラユニットのユニットホルダーの上にサンシールドをスライドして取り付けます。
2. 付属のねじでサンシールドを固定します(トルクス T20)。

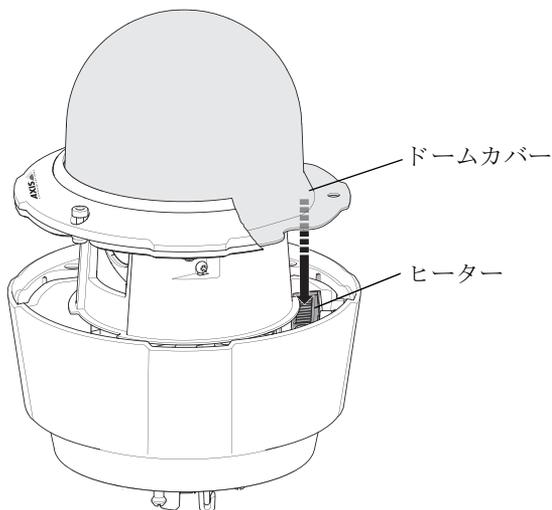
クリア/半透明ドームカバーを交換する(オプション)

重要!

このカメラには、ドーム内を低湿度に保つために、除湿膜が装備されています。結露を予防するために、カメラを雨の中または湿った状況で分解しないでください。

1. ドームリングのねじ 4 本を緩め、ドームリングとドームカバーを取り外します。6 ページの図を参照してください。
2. 4 本の金属リングねじを取り外します。6 ページの図を参照してください。
3. プラスチックドームカバーから金属リングとドームリングを取り外します。
4. ドームカバーからゴムのガスケットを取り外し、交換するドームカバーに取り付けます。ガスケットがドームカバーにしっかりと装着されるように取り付けてください。
5. ドームカバーの突起とドームリングのロゴタイプの一つの位置を合わせます。
6. 金属リングを取り付け、4 本のねじを固く締めて固定します。
7. SD カードを取り付ける場合は、以下のSDカードを取り付ける(オプション)の手順を参照してください。

- ドームカバーとともにドームリングを元の位置に取り付け、ねじを締めます。ドームカバーの突起とカメラユニットのヒーターの位置を合わせます。



注記：

ドームカバーに傷が付いたり破損しないように、注意して取り扱ってください。可能な場合は、設置が完了するまでドームカバーの保護用プラスチックを付けたままにしてください。

SD カードを取り付ける (オプション)

- ドームリングのねじ 4 本を緩め、ドームリングとドームカバーを取り外します。6 ページの図を参照してください。
- SD カード (別売) を SDHC (Secure Digital High Capacity) カードスロットに挿入します。
- ドームカバーとともにドームリングを元の位置に取り付け、ねじを締めます。ドームカバーの突起とカメラユニットのヒーターの位置を合わせます。8 ページの図を参照してください。

注記：

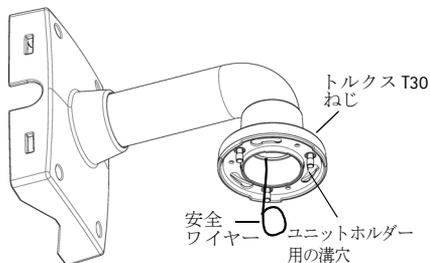
SD カードは、SDHC カードスロットに挿入されると、自動的にマウントされます。ただし、SD カードを取り出す前には、カメラの Web ページ上でマウント解除を行ってください。[Setup (設定)] > [System Options (システムオプション)] > [Storage (ストレージ)] > [SD Card (SD カード)] ページの [Unmount (マウント解除)] ボタンをクリックします。詳細については、本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD 収録のユーザーズマニュアルを参照してください。または、www.axiscom.co.jp の Web サイトをご覧ください。

ネットワークカメラのインストール

重要！

カメラの IP66 規格に準拠するには、付属の RJ45 コネクターまたは互換性のある IP66 規格の RJ45 コネクターを使用する必要があります。

1. 選択したブラケット（別売）を、ブラケットに付属の取扱説明書にしたがって取り付けます。穴開けが必要な場合は、素材に適したドリルビット、ねじ、およびプラグを使用してください。取り付けに利用できるアクセサリについては、www.axiscom.co.jp を参照してください。
2. カメラのネットワークコネクターを覆っている保護キャップを取り外します。
3. ネットワークケーブルを配線し、付属の RJ45 コネクターを取り付けます。配線と組み立ての方法については、コネクター付属の説明書を参照してください。
4. カメラをブラケットの安全ワイヤーに引っ掛けます。
5. カメラのネットワークコネクターにネットワークケーブルと RJ45 コネクターを接続します。
6. AXIS T8124 を接続します。AXIS T8124 High PoE ミッドスパン 1 ポートの取り付け、ページ 10 を参照してください。
7. ミッドスパンのインジケータ LED が正しい状態を示していることを確認します。詳細については、11 ページの表を参照してください。
8. カメラのユニットホルダーをブラケットの溝穴に滑り込ませ、カメラユニットを回転させます。
9. 3 本のねじ（トルクス T30）を締め付け、取り付けしたブラケットにネットワークカメラを固定します。



壁面ブラケット（取付例、ブラケットは別売）

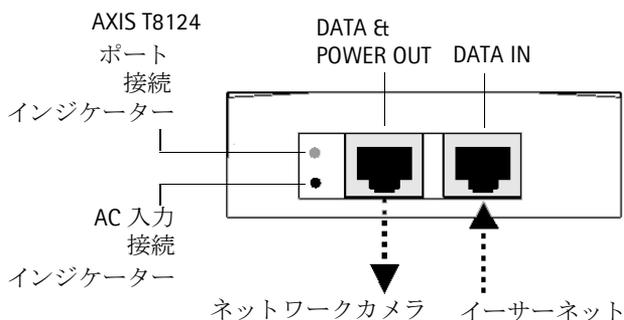
AXIS T8124 High PoE ミッドスパン 1 ポートの取り付け

Axis T8124 High PoE ミッドスパンを使用すると、電力消費量が多い Axis ネットワークビデオ製品でも、1本のイーサネットケーブルを使用してデータ送受信と電力供給を行うことができます。接続するには、次の手順にしたがってください。

注記：

Axis では、AXIS T8124 を利用した場合のみ完全な機能を保証できます。その他の High PoE デバイスには対応していません。

1. 標準ネットワークケーブルを利用して、AXIS T8124 (DATA IN) をネットワークスイッチに接続します。
2. カメラに接続されているネットワークケーブルを使用して、AXIS T8124 (DATA & POWER OUT) をネットワークカメラに接続します。
3. 付属の電源ケーブルを利用して AXIS T8124 を AC コンセント (100 ~ 240 V AC) に接続します。



ミッドスパンの LED の詳細については、*IP アドレスの設定*、ページ 11 を参照してください。

注記：

カメラとエンドポイント間では必ず屋外用シールド付きネットワークケーブル (STP) を使用し、エンドポイントが正しく接地されるよう確認してください。シールド付きネットワークケーブル (STP) を使用し、エンドポイントが正しく接地された Axis カメラの設置は、サージ保護などの業界の耐性基準レベルに準拠していることが試験で実証されています。その他の設置方法では保証が無効になり、ユニットに危険が及ぶ可能性があります。

④ IP アドレスの設定

現在、ほとんどのネットワークでは、DHCP サーバーを使用して自動的に接続デバイスに IP アドレスを割り当てています。ネットワークに DHCP サーバーが導入されていない場合、ネットワークカメラは、192.168.0.90 をデフォルトの IP アドレスとして使用します。

固定 IP アドレスを設定したい場合、Windows をご使用の場合は **AXIS IP Utility** または **AXIS Camera Management** のいずれかの使用をお勧めしています。インストールするカメラの台数に応じて、最適な手段をお選びください。

これらはいずれも無償のアプリケーションで、製品に付属する AXIS ネットワークビデオ製品 CD に収録されています。また、Axis のホームページ www.axiscom.co.jp からダウンロードしてご利用いただけます。

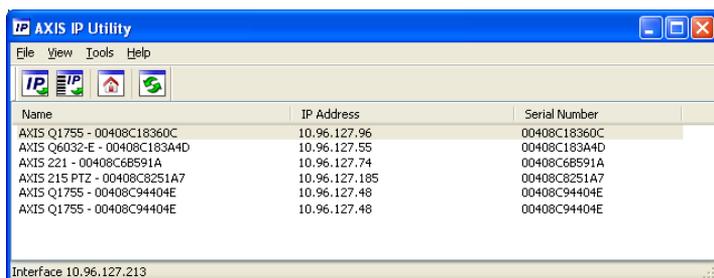
使用できる手段	推奨される製品設置環境	オペレーティングシステム
 AXIS IP Utility 12 ページ参照	1 台のカメラ 小規模インストール	Windows
 AXIS Camera Management 13 ページ参照	複数台のカメラ 大規模インストール 異なるサブネットでのインストール	Windows 2000 Windows XP Pro Windows 2003 Server Windows Vista Windows 7

注記：

- IP アドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによって設定が妨げられていないかどうか確認してください。
- 他の OS を使用する場合など、その他の IP アドレスの設定および検出方法については、17 ページを参照してください。

AXIS IP Utility を利用する (1 台のカメラ / 小規模インストール向き)

AXIS IP Utility は、ネットワーク上の Axis デバイスを自動的に検出して表示します。また、このアプリケーションでは手動で固定 IP アドレスを設定することができます。



ネットワークカメラは、AXIS IP Utility が動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント (物理サブネット) に接続されている必要があります。

自動検出機能

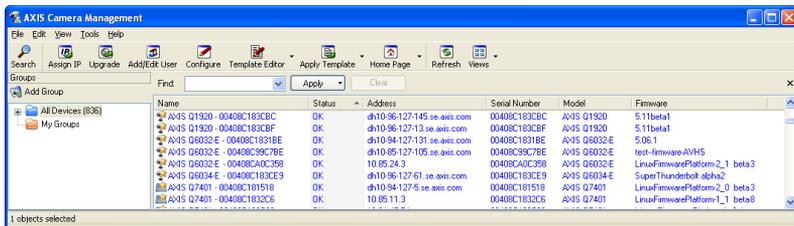
1. カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utility を起動します。
3. カメラがウィンドウに表示されたら、それをダブルクリックしてホームページを開きます。
4. パスワードの設定方法については、14 ページを参照してください。

IP アドレスを手動で設定する (オプション)

1. コンピューターと同じネットワークセグメント上で、未使用の IP アドレスを入手します。
2. リスト内のネットワークカメラを選択します。
3. **[Assign new IP address to the selected device (選択したデバイスに新しい IP アドレスを設定)]** ボタン  をクリックして、IP アドレスを入力します。
4. **[Assign (IP を設定)]** をクリックし、画面の指示にしたがいます。新しい IP アドレスを設定するには、2 分以内にカメラを再起動する必要があります。
5. **[Home Page (ホームページ)]** をクリックして、本カメラの Web ページにアクセスします。
6. パスワードの設定方法については、14 ページを参照してください。

AXIS Camera Management (複数台のカメラ / 大規模インストール向き)

AXIS Camera Management は複数の Axis デバイスを自動的に検出し、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレード、IP アドレスの設定などを行うことができるソフトウェアです。



自動検出機能

1. カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Management を起動します。ウィンドウにネットワークカメラが表示されたら、リンクを右クリックして、[Live View Home Page (ライブビューホームページ)] を選択します。
3. パスワードの設定方法については、14 ページを参照してください。

1 台のデバイスに IP アドレスを設定する

1. AXIS Camera Management でネットワークカメラを選択し、[Assign IP (IP を設定)] ボタン をクリックします。
2. [Assign the following IP address (次の IP アドレスを設定)] を選択し、デバイスが使用する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト ルーターの値を入力します。
3. [OK] をクリックします。



複数のデバイスの IP アドレスを設定する

AXIS Camera Management を利用すると、特定の範囲から IP アドレスが選択されて複数のデバイスにまとめて IP アドレスを割り当てることができ、設定作業を迅速化することができます。

1. 設定したいデバイスを選択し (異なるモデルも選択可能)、[Assign IP (IP を設定)] ボタン をクリックします。



2. **[Assign the following IP address range (次の IP アドレス範囲を設定)]** を選択し、デバイスが使用する IP アドレスの範囲、サブネットマスク、デフォルトルーターの値を入力します。
3. **[Update (更新)]** をクリックします。設定される IP アドレスが **[New IP Addresses (新しい IP アドレス)]** の下に一覧表示されます。この一覧を編集するには、デバイスを選択して **[Edit (編集)]** をクリックします。
4. **[OK]** をクリックします。

⑤ パスワードの設定

製品にアクセスするには、デフォルトの管理者ユーザー **root** 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、ネットワークカメラに初めてアクセスしたときに表示される、**[Configure Root Password (ルートパスワードの設定)]** ダイアログで行います。

root パスワード設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐために、パスワードの設定は暗号化された HTTPS 接続を使用して行うことができますが、この場合には HTTPS 証明書が必要です。

注記： HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over SSL) は Web ブラウザーとサーバー間のトラフィックを暗号化するためのプロトコルです。HTTPS 証明書は暗号化された情報の受け渡しをコントロールします。

標準 HTTP 接続でパスワードを設定するには、以下の最初のダイアログに直接入力してください。

HTTPS 暗号化接続を使用してパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

1. **[Create self-signed certificate (自己署名証明書を作成)]** ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して **[OK]** をクリックします。証明書が作成され、これで安全な状態でパスワードを設定できます。この時点から、ネットワークカメラとの間で送受信されるすべてのデータトラフィックが暗号化されます。

- パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。[OK] をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。

The image shows two overlapping screenshots from the AXIS web interface. The top screenshot is titled "Create Self-Signed Certificate" and contains fields for "Common name:" (10.92.25.211) and "Validity:" (365 days). A callout points to a "Create self-signed certificate..." button with the text: "このボタンをクリックして HTTPS 接続を作成します。" The bottom screenshot is titled "Configure Root Password using HTTPS" and has fields for "User name:" (root), "Password:", and "Confirm password:". A callout points to the "OK" button with the text: "暗号化されていない接続を経由して直接パスワードを設定するには、ここでパスワードを入力します。"

- ログインするには、要求にしたがってダイアログにユーザー名 "root" を入力します。
注記: デフォルトの管理者ユーザー名 root は削除できません。
- 上記の手順で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
注記: パスワードを忘れてしまった場合、工場出荷時のデフォルトの設定にカメラをリセットする必要があります。20 ページを参照してください。

- AXIS Q6035-E: キャプチャーモードはカメラに初めてアクセスしたときに設定する必要があります。ドロップダウンリストから使用する [Capture Mode (キャプチャーモード)] を選択し、[OK] をクリックします。

The screenshot shows the "Configure capture mode" dialog box. It features a dropdown menu for "Capture Mode:" with three options: "1080p 1920x1080 (16:9) @ 25fps", "1080p 1920x1080 (16:9) @ 25fps" (which is selected), and "720p 1280x720 (16:9) @ 50fps". An "OK" button is located to the right of the dropdown. Below the dropdown, there is explanatory text: "Capture mode defines how the image data will be taken with a priority given to either resolution or frame rate." and a note: "Note: The Capture mode is intended to be set the first time the camera is configured. If changed later, some settings will be either removed or reset."

注記: キャプチャーモードは製品の Web ページから後で変更できますが、その他の設定までリセットすることになります。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

ビデオストリームにアクセスする

ネットワークカメラの [Live View (ライブビュー)] ページが表示されます。ここには Setup (設定) ツールへのリンクがあり、このリンクを使用してカメラをカスタマイズできます。

必要な場合、[Yes (はい)] をクリックして AMC (AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorer でビデオストリームを表示できます。インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

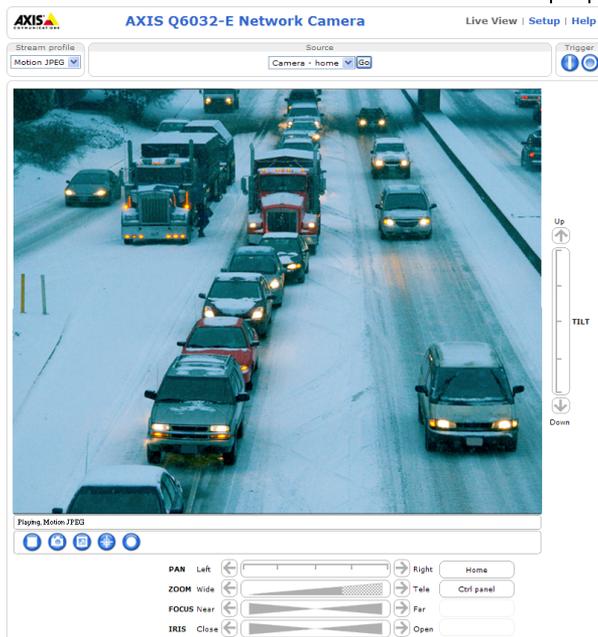
必要に応じてリンクをクリックし、足りないデコーダーをインストールしてください。

注記:

Windows Vista 環境に AMC をインストールするには、管理者権限で Internet Explorer を実行する必要があります。[Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[Run as administrator (管理者として実行)] を選択します。

Setup (設定) - お客様の要件にしたがってカメラを設定するために必要なすべてのツールを提供します。

Help (ヘルプ) - カメラの使用に関する総合的なオンラインヘルプが表示されます。



IP アドレスのその他の設定方法

次の表では、その他の IP アドレスの設定または検出方法を説明しています。すべての方法はデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

	対応オペレーティングシステム	注記
UPnP™	Windows	コンピューターで有効になっている場合は、カメラが自動的に検出され、[My Network Places (マイ ネットワー)] に追加されます。
Bonjour	MAC OS X (10.4 以降)	Bonjour に対応したブラウザで使用できます。ブラウザ (Safari など) の Bonjour ブックマークに移動し、リンクをクリックしてカメラの Web ページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	Axis が無償で提供するサービスで、カメラをすばやく簡単にインストールできます。サービスの利用には、HTTP プロキシを使用しないインターネット接続が必要です。詳細については、 www.axiscam.net を参照してください。
ARP/Ping	すべて	以下を参照してください。コマンドの実行は、カメラに電源を接続してから 2 分以内に行う必要があります。
DHCP サーバー	すべて	DHCP サーバーの管理者ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

AXIS Video Hosting System (AVHS)

カメラを AVHS サービスに接続してビデオをホスティングすることもできます。AVHS サービスに加入している場合は、サービスプロバイダーのインストールガイドの指示にしたがってください。最寄りの AVHS サービスプロバイダーの詳細や検索方法については、www.axis.com/hosting を参照してください。

Camera owner authentication key (カメラ所有者認証キー) が本製品に添付されています。このキーは、ラベルの上部に記載されているカメラに一意的シリアル番号 (S/N) と関連付けられています。

注記：

このキーは、今後参照するために保管しておいてください。

ARP/Ping を使用して IP アドレスを設定する

1. コンピューターが接続されているネットワークセグメント上で IP アドレスを入手します。
2. カメラの製品ラベルに表示されているシリアル番号 (S/N) を見つけます。
3. コンピューターでコマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。

Windows の構文 :	Windows の例 :
arp -s <IP アドレス> <シリアル番号> ping -l 408 -t <IP アドレス>	arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00 ping -l 408 -t 192.168.0.125
UNIX/Linux/Mac の構文 :	UNIX/Linux/Mac の例 :
arp -s <IP アドレス> <シリアル番号> temp ping -l 408 <IP アドレス>	arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp ping -l 408 192.168.0.125

4. ネットワークケーブルがカメラに接続されていることを確認します。次に、電源を入れ直してカメラを起動 / 再起動します。
5. 画面に 'Reply from 192.168.0.125:...' またはこれに類似する応答メッセージが表示されたら、コマンドプロンプトを閉じます。
6. ブラウザーのロケーション / アドレスフィールドに「http://<IP アドレス>」と入力し、キーボードの Enter キーを押します。

注記 :

- Windows でコマンドプロンプトを開くには、[スタート]メニューから [ファイル名を指定して実行 ...] を選択し、「cmd」を入力してから、[OK] をクリックします。
- Windows 7 または Windows Vista で ARP コマンドを使用するには、コマンドプロンプトのアイコンを右クリックし、[Run as administrator (管理者として実行)] を選択します。
- Mac OS X で ARP コマンドを使用するには、Application > Utilities の Terminal utility を使用します。

電気仕様

製品	機能	説明
AXIS Q6032-E AXIS Q6034-E AXIS Q6035-E	High Power over Ethernet	50-57 V DC、最大 50 W (4 ペアで電力を供給)

製品	機能	説明
AXIS T8124	入力電圧	100 - 240 V AC (50 ~ 60 Hz)
	入力電流	1.5 A (最大)
	入力電力	74 VA
	使用可能出力電力	60 W (最大)
	公称出力電圧	55 V DC

ステータスインジケータ

製品	色	説明
AXIS Q6032-E AXIS Q6034-E AXIS Q6035-E	消灯	安定接続、通常動作時
	オレンジ色	システム起動時に連続点灯。ファームウェアアップグレードまたは工場出荷時設定へのリセット時に点滅。
	オレンジ色 / 赤色	ネットワークに接続されていません
	赤色	ファームウェアのアップグレードに失敗
	緑色	正常に再起動した後 10 秒間点灯

ユニット	LED	色	説明
AXIS T8124	ポート	消灯	カメラが接続されていません
		オレンジ色	カメラとヒーターの電源が不足しています。ケーブルをチェックしてください
		点滅	電力過負荷
		緑色	カメラは接続されており、正常に動作しています
	AC 入力	緑色 (点灯)	AC 電源が接続されています

工場出荷時設定へのリセット

カメラを工場出荷時設定にリセットするには、カメラの側面にあるコントロールボタンと電源ボタンを使用します。以下の方法を利用してリセットを行うと、IPアドレスを含むすべてのパラメータが工場出荷時の状態にリセットされます。

1. ドームリングとドームカバーを取り外します。これにより自動的に電源が切断されます。
2. コントロールボタンと電源ボタンを同時に押し続けます。
3. ステータスインジケータがオレンジ色に点滅するまで、コントロールボタンと電源ボタンを押し続けます (約 15 秒程かかります)。
4. コントロールボタンを離します。ステータスインジケータが緑色になると (1 分ほどかかる場合があります)、カメラのリセットは完了です。これでユニットの IP アドレスがデフォルトの 192.168.0.90 になりました。
注記: ステータスインジケータは、10 秒間のみ緑色になります。その後は消灯します。詳しくは、ステータスインジケータ表 (19 ページ) を参照してください。
5. 電源ボタンを離します。
6. ドームリングとドームカバーを取り付け直します。カメラに自動的に電源が接続されます。
7. *IP アドレスの設定*, ページ 11 で説明した方法にしたがって IP アドレスを設定し直します。

パラメータを工場出荷時のデフォルトの設定にリセットするには、Web インターフェースを使用することもできます。詳細については、オンラインヘルプまたは本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD 収録のユーザーズマニュアルを参照してください。

インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする

インストールが完了すると、お使いのローカルネットワーク (LAN) でネットワークカメラにアクセスできるようになります。インターネットを経由してカメラにアクセスする場合は、受信トラフィックを受け入れるようネットワークルーターを設定する必要があります (通常は特定のポートで行います)。

- 閲覧と設定を行う場合は、HTTP ポート (デフォルトポート : 80)
- H.264 ビデオストリームを閲覧する場合は、RTSP ポート (デフォルトポート : 554)

詳細については、お使いのルーターのマニュアルを参照してください。その他のトピックについての詳細は、Axis のサポートサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

関連情報

ユーザーズマニュアルは、Axis の Web サイト (www.axis.com.co.jp) または本製品付属の Axis ネットワークビデオ製品 CD からご覧いただけます。

ヒント :

www.axis.com/techsup にアクセスして、ネットワークカメラのファームウェアの更新がリリースされていないかどうか確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、**[Setup (設定)]** > **[About (バージョン情報)]** をクリックします。

インストールガイド

Ver. 2.1

AXIS Q6032-E/Q6034-E/Q6035-E

作成日 : 2011 年 9 月

© アクシスコミュニケーションズ株式会社、2009-2011 年

製品番号 : 44540